

北信地域における幹線の確認について（上林線）

1 通院・通学・観光における品質が保証されているか

◇通院 行き:拠点となっている病院に午前中に到着できる。
 帰り:診療を終え、午後の早い時間帯に帰宅できる。

山ノ内町→中野市、飯山市方面

拠点名	行き				帰り				判定
	湯田中駅発	信州中野駅着	信州中野駅発 (乗り換え)	拠点 到着	拠点 出発	信州中野駅着	信州中野駅発 (乗り換え)	湯田中駅着	
北信総合病院	7:04	7:35	合庁線 8:00	8:01	合庁線 12:53	12:57	13:00	13:32	○
飯山赤十字病院	7:04	7:35	合庁線 8:00	8:42	合庁線 12:11	12:57	13:00	13:32	○

北信地域における幹線の確認について（上林線）

◇通学 行き:始業時間に間に合うよう登校できる。
 帰り:授業終了後及び課外活動終了後、帰宅できる。

山ノ内町→中野市、飯山市方面

拠点名	行き				帰り				判定			
	湯田中駅発	信州中野駅着	信州中野駅発 (乗り換え)	拠点到着	拠点出発	飯山駅着	飯山駅発	信州中野駅着		信州中野駅発 (乗り換え)	湯田中駅着	
飯山高校	7:04	7:35	中野木島野沢線 7:40	8:20*1	中野木島野沢線 15:55*1			16:41	長野電鉄 17:21	17:33		
					中野木島野沢線 16:55*1				17:41		18:10	18:42
					合庁線 19:05*2				19:46		20:17	20:29
下高井農林高校	7:04	7:35	中野木島野沢線 7:40	8:33	中野木島野沢線 16:35	18:20	合庁線 19:05	17:41	18:10	18:42		
					中野木島野沢線 17:55						19:46	20:17
中野立志館高校 中野西高校	7:04	—	—	7:35	18:10			—	—	18:42		
					長野電鉄 19:41						—	—
飯山養護学校	7:04	7:35	中野木島野沢線 7:40	8:27	中野木島野沢線 15:45			16:41	18:10 長野電鉄 17:21	18:42 17:33		

*1 飯山高校から約1kmの距離にある福寿町の到着、出発時間 *2 飯山高校から約2kmの距離にある飯山駅の出発時間

◇観光 円滑な乗継ぎができ、十分な滞在時間が確保できる。

路線沿線には地域拠点である「野猿公苑」の最寄りのバス停である「スノーモンキーパーク」がある。
 平日、土日祝ともに14便運行しており、十分な滞在時間を確保できると考えるが、円滑な乗継ぎができるダイヤ設定等、今後別途検証する。

北信地域における幹線の確認について（上林線）

2 利用状況・実態を鑑みて適切な路線となっているか

◇現行路線の起点、経由地、終点が妥当か

圏域拠点「信州中野駅」と外国人に人気の高い地域拠点「野猿公苑」の最寄りのバス停である「スノーモンキーパーク」を結ぶ路線で、山ノ内町の地域拠点「湯田中駅」を経由しており妥当。

◇運行ダイヤ、便数、運行形態や車両のサイズが適切か

【運行ダイヤ、便数】

- ・通院・・・品質が保証されており妥当
- ・通学・・・品質が保証されており妥当

【運行形態・車両のサイズ】

通院や買い物など幅広い時間で利用が見られるため定時定路線での運行が適切。平均乗車密度は2.7人だが、観光客が集中する冬期はスノーモンキーから湯田中駅間がほぼ満員状態であり、中型バスによる運行が適切。

3 路線同士が競合していないか

◇複数の事業者が類似の路線を走行していないか。

◇幹線同士又は、幹線と準幹線や支線の一部が重複していないか。

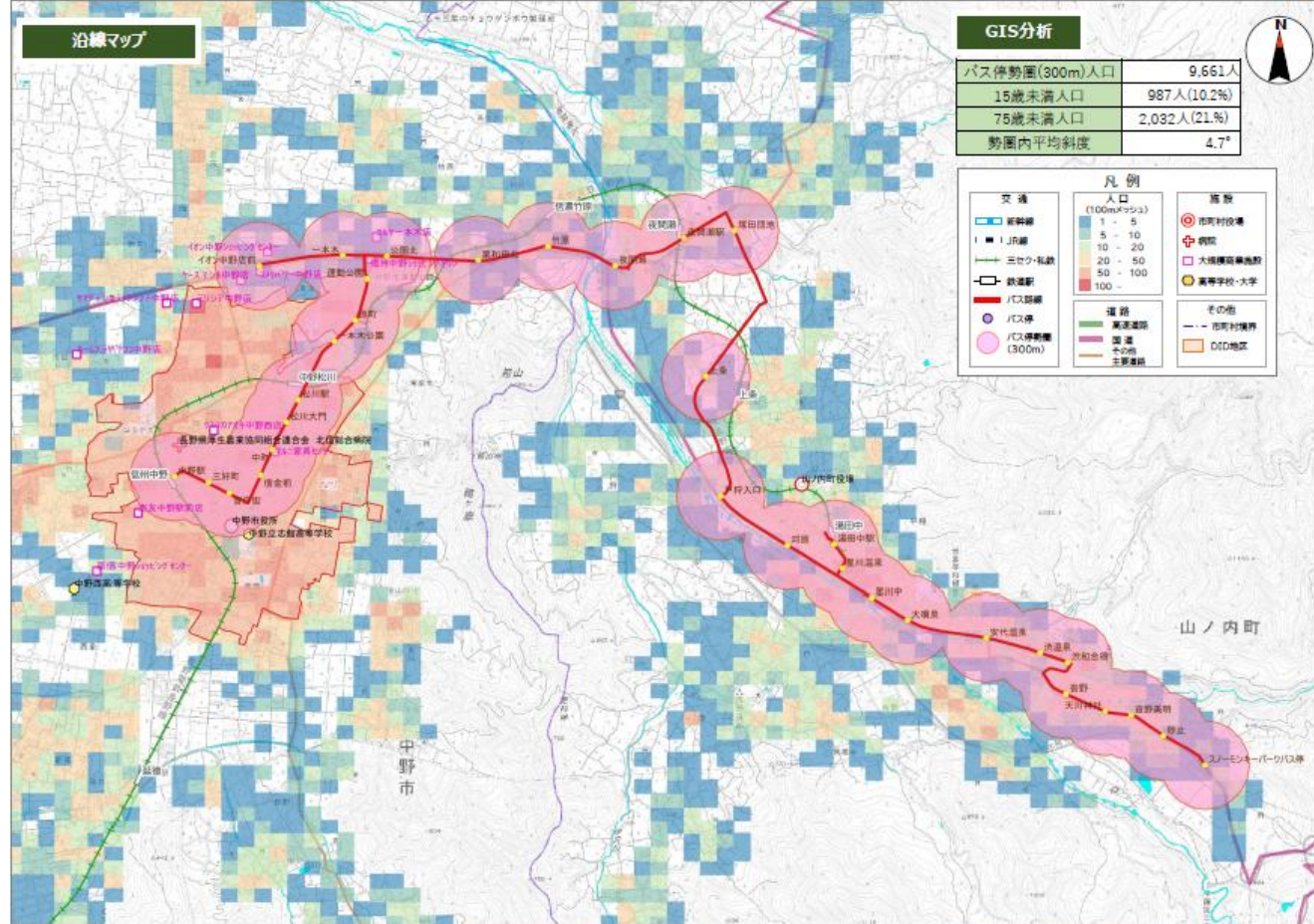
菅線とは、信州中野駅からイオン中野店までの間で路線が重複しており、菅線を廃止の方向で検討する。また、信州中野駅と湯田中駅を繋ぐ路線としては、長野電鉄長野線があるが、経路が異なり、沿線住民の買い物や通院の需要を取り込んでいるため、特別な事情があるものと認められる。

<参考> 上林線の現状について

圏域区分	路線種別	路線No.	路線名
10北信	C:幹線	1032	上林線

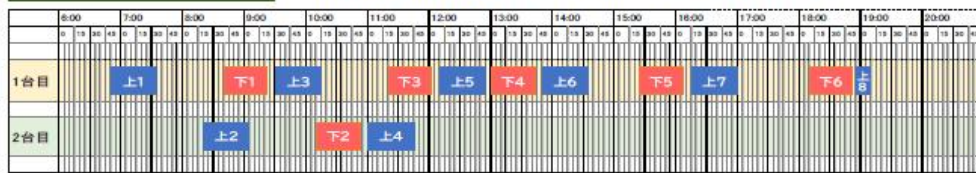
路線の基礎データ

路線名	上林線			
運営主体	長電バス			
運行事業者	長電バス			
事業形態	許可形式	一般乗合旅客運送事業[4条]		
	運行方式	路線定期運行		
車両	使用車両	中型バス [車長9m]		
	乗車定員	56人		
運行状況	起点	主系統	信州中野駅	
		最長系統	信州中野駅	
	主要経由地	運動公園、夜間瀬駅、湯田中駅、洗温泉		
	終点	主系統	スノーマンキーパーク	
		最長系統	スノーマンキーパーク	
	キロ程	主系統	13.9km	
		最長系統	13.9km	
	運行日	毎日		
	運行本数	平日	上り8便	下り6便
		土曜	上り8便	下り6便
休日		上り8便	下り6便	
運行時間帯	平日	6:50~19:09		
	土曜	6:50~19:09		
	休日	6:50~19:09		
運賃体系	運賃種別	距離制		
	初乗り運賃	200円		
	最長区間運賃	680円		
	子ども運賃	半額		
	障がい者割引	半額		
	高齢者割引	×		
	回数券	○		
	通学定期	○		
通勤定期	○			
キャッシュレス決済	×			
GTFS	Googleマップへの掲載あり			
利用目的	生活・観光利用両方			



・信州中野駅から、中野市街地、湯田中温泉、洗温泉などを経て山ノ内町の上林温泉を結ぶ路線。
 ・上林温泉はスノーマンキーの愛称で外国人観光客に人気の「地獄谷野猿公苑」への遊歩道の入口でもあり、令和元年に、終点バス停を「スノーマンキーパーク」に変更している。
 ・起点から湯田中駅までは並行する長野電鉄長野線と並行しているため、湯田中駅以東のニーズが高いという実態もあるが、鉄道駅からは距離のある中野市街地のスーパーや病院に直接アクセスできる利便性の高さも備えている。

ダイヤ及び車両の運用



事業収支 (令和6年度)

	費用(千円)	備考	
運行経費	30,960		
(内委託費)	-		
運賃収入	10,897		
収支率	35%		
補助金	国	1,741	
	県	1,741	
	市町村	6,673	中野市
		10,803	山ノ内町
	0		

利用実績 (直近3年)



北信地域における幹線の確認について(中野木島野沢線)

1 通院・通学・観光における品質が保証されているか

◇通院 行き : 拠点となっている病院に午前中に到着できる。
 帰り : 診療を終え、午後の早い時間帯に帰宅できる。

中野市→飯山市方面

拠点名	行き			帰り			判定
	信州中野駅発	飯山駅発	拠点到着	拠点出発	飯山駅着	信州中野駅着	
北信総合病院	8:10	—	8:11	14:20	—	14:21	○
飯山赤十字病院	8:10	8:45	8:51	13:34	13:40	14:21	○

野沢温泉村、木島平村→飯山市、中野市方面

拠点名	行き					帰り					判定
	野沢グランド ホテル発 (中央バス ターミナル)	中村発 (木島平村役場)	飯山駅発	信州中野駅発	拠点到着	拠点出発	信州中野駅着	飯山駅着	中村着 (木島平村役場)	野沢グランド ホテル着 (中央バス ターミナル)	
北信総合病院	7:10	7:31	7:55	—	8:28	13:01	—	13:30	13:50	14:13	○
飯山赤十字病院	9:10	9:31	—	—	9:49	13:36	—	—	13:50	14:13	○

◇観光 円滑な乗継ぎができ、十分な滞在時間が確保できる。

路線沿線には地域拠点である「野沢温泉」がある。
 観光利用は主に野沢温泉ライナーが利用されることが多く、十分な滞在時間を確保できると考えるが、今後別途整理、検証する。

北信地域における幹線の確認について（中野木島野沢線）

1 通院・通学・観光における品質が保証されているか

◇通学 行き:始業時間に間に合うよう登校できる。
 帰り:授業終了後及び課外活動終了後、帰宅できる。

中野市→飯山市、木島平村方面

拠点名	行き			帰り			判定	
	信州中野駅発	飯山駅発	拠点到着	拠点出発	飯山駅着	飯山駅発 (乗り換え)		信州中野駅着
飯山高校	7:40	—	8:20*1	15:55*1 16:55*1 合庁線 19:05*2	—	—	16:41 17:41 19:46	○
下高井農林高校	7:40	8:15	8:33	16:35 17:55	17:00 18:20	— 合庁線 19:05	17:41 19:45	○
飯山養護学校	7:40	8:15	8:27	15:45	16:00	—	16:41	○

野沢温泉村、木島平村方面→飯山市、中野市方面

拠点名	行き				帰り					判定	
	野沢グランドホテル発 (中央バスターミナル)	中村発 (木島平村役場)	飯山駅着	飯山駅発 (乗り換え)	拠点到着	拠点出発	飯山駅着	飯山駅発 (乗り換え)	中村着 (木島平村役場)		野沢グランドホテル着 (中央バスターミナル)
飯山高校	7:10	7:31	—	—	7:55	16:45 19:05	—	—	16:59 19:19	17:23 —	○
下高井農林高校	7:10	—	—	—	7:30	17:00	—	—	—	17:23	○
中野立志館高校 中野西高校	ライナー 6:30 —	— シャトル便 6:52	6:55 7:05	7:15	7:49	16:10*4 17:05 18:30	16:40 17:35 19:00	— ライナー18:55 —	16:59 17:54 19:19	17:23 — 19:20	○
飯山養護学校	7:10	7:30	—	7:55	8:29*3	15:27 16:52	—	—	ライナー20:15 —	15:34 16:59 20:40	○

*1 飯山高校から約1kmの距離にある福寿町の到着、出発時間 *2 飯山高校から約2kmの距離にある飯山駅の出発時間 *3 立志館高校8:31着 *4 立志館高校16:05発

北信地域における幹線の確認について（中野木島野沢線）

2 利用状況・実態を鑑みて適切な路線となっているか

◇現行路線の起点、経由地、終点が妥当か

圏域拠点「信州中野駅」と野沢温泉村の地域拠点「中央バスターミナル」（野沢グランドホテル）を結ぶ路線で、地域拠点「木島平村役場」（中村）、「北信総合病院」、「飯山赤十字病院」、「飯山高校」「下高井農林高校」、「飯山養護学校」（木島）を経由しており妥当。

◇運行ダイヤ、便数、運行形態や車両のサイズが適切か

【運行ダイヤ、便数】

・通院……品質が保証されており妥当 ・通学……品質が保証されており妥当

【運行形態・車両のサイズ】

通院や通学を始め幅広い時間で利用が見られるため、定時定路線での運行が適切。中野木島線の平均乗車密度が5.2人。特に朝の通学の時間帯は上り、下りともに20名近い利用者がおり、積雪や凍結の影響で冬期に利用者が増加することを考慮すると中型バスによる運行が適切。

3 路線同士が競合していないか

◇複数の事業者が類似の路線を走行していないか。

◇幹線同士又は、幹線と準幹線や支線の一部が重複していないか。

合庁線と起点、終点が重複しているが、大半の区間で経路が大きく異なる。また、異なるダイヤで運行され、お互い補完しあうことでサービスの品質が確保されている。

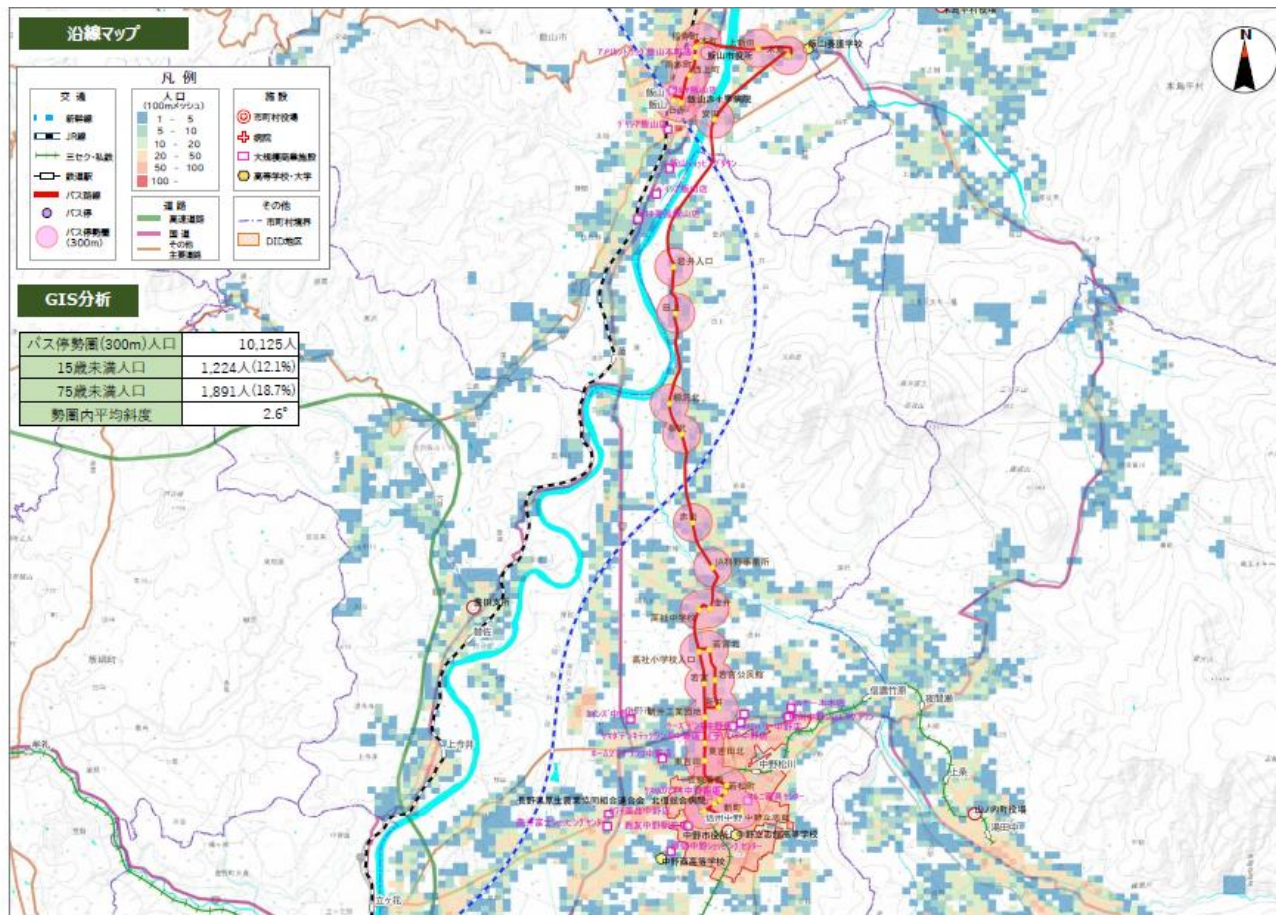
野沢温泉ライナー及び木島平シャトル便の起点、終点と重複しているが、一部の便については空白時間帯を補完している。

<参考> 中野木島線の現状について

圏域区分	路線種別	路線No.	路線名
10北信	C:幹線	1034	中野木島線

路線の基本データ

路線名	中野木島線		
運営主体	長電バス		
運行事業者	長電バス		
事業形態	許認可形式	一般乗合旅客運送事業[4条]	
	運行方式	路線定期運行	
車両	使用車両	中型バス [車長9m]	
	乗車定員	56人	
運行状況	起点	主系統	信州中野駅
		最長系統	立志館高校
	主要経由地	高社中学校、木島	
	終点	主系統	飯山駅
		最長系統	飯山駅
	キロ程	主系統	17.4km
		最長系統	18.3km
	運行日	毎日	
	運行本数	平日	上り11便 下り11便
		土曜	上り4便 下り4便
運行時間帯	平日	6:40~20:02	
	土曜	7:40~18:57	
	休日	7:40~18:57	
運賃体系	運賃種別	距離制	
	初乗り運賃	170円	
	最長区間運賃	700円	
	子ども運賃	半額	
	障がい者割引	半額	
	高齢者割引	×	
	回数券	○	
通学定期	○		
通勤定期	○		
キャッシュレス決済	×		
GTFS	Googleマップへの掲載あり		
利用目的	通院・通学などの生活利用		



・平成14年に廃止となった長野電鉄河東線の代替路線バスとして運行が始まったもので、地域間幹線系統補助の対象路線である。
 ・当初は信州中野駅を起点に旧木島駅までの運行であったが、北陸新幹線の開業に伴い飯山駅まで延伸されている。
 ・運行本数は、平日11往復で北信地域管内では最も多い。
 ・バス停圏内での人口も多い。沿道には商業施設も多く立地している。合庁線との経路の重複もみられる。
 ・国庫補助の不足分の中野市と飯山市の補助金が充てられている。

事業収支 (令和6年度)

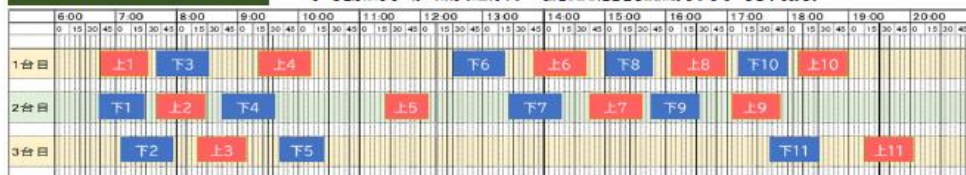
	費用(千円)	備考	
運行経費	51,013		
(内委託費)	-		
運賃収入	35,516		
収支率	70%		
補助金	国	3,344	
	県	3,344	
	市町村	9,095	中野市
		3,332	飯山市
	0		

利用実績 (直近3年)



ダイヤ及び車両の運用

※下図は平日のパターン。実際の車両運用については、他路線との掛け持ちの場合もあり、この図の通り運用されているとは限らないが、概ねの運行ボリュームを視覚化させる観点から示しているものである。

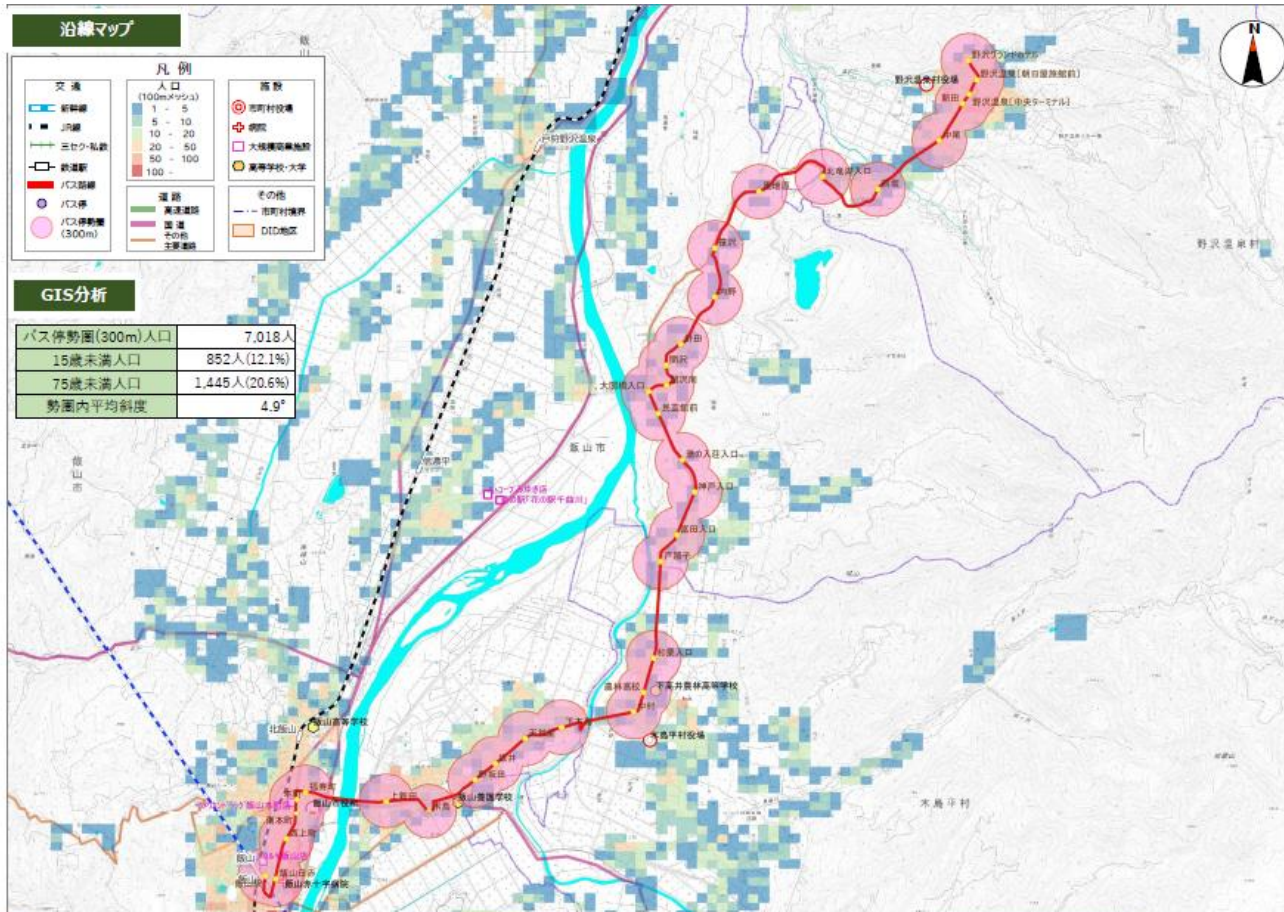


<参考> 野沢線の現状について

圏区分	路線種別	路線No.	路線名
10北信	C:幹線	1033	野沢線

路線の基礎データ

路線名	野沢線		
運営主体	長電バス		
運営事業者	長電バス		
事業形態	許認可形式	一般乗合旅客運送事業[4条]	
	運行方式	路線定期運行	
車両	使用車両	中型バス [車長9m]	
	乗車定員	56人	
運行状況	起点	主系統	飯山駅
		最長系統	飯山駅
	主要経由地	木島、中村、下高井農林高校	
	終点	主系統	野沢グランドホテル
		最長系統	野沢グランドホテル
	キロ程	主系統	16.3km
		最長系統	16.3km
	運行日	毎日	
運行本数	平日	上り7便 下り8便	
	土曜	上り7便 下り6便	
	休日	上り7便 下り6便	
運行時間帯	平日	7:10~18:11	
	土曜	7:10~18:11	
	休日	7:10~18:11	
運賃体系	運賃種別	距離制	
	初乗り運賃	170円	
	最長区間運賃	700円	
	子ども運賃	半額	
	障がい者割引	半額	
	高齢者割引	×	
	回数券	○	
	通学定期	○	
通勤定期	○		
キャッシュレス決済	×		
GTFS	Googleマップへの掲載あり		
利用目的	通院・通学などの生活利用		



飯山駅から、信州を代表する温泉地で、スキーリゾートでもある野沢温泉を結ぶ路線で、途中、木島平村中心部や下高井農林高校などを経由している。地域間幹線系統補助の対象路線である。

・北陸新幹線の開業にあわせて運行が開始された野沢温泉ライナーとの重複路線となっている。本路線のほうが集落に沿った旧道を經由するため、所要時間が長い。競合路線としては厳しい面もあり、利用者数の減少が続いている。

・国庫補助の不足分は沿線の3市町村が補助金を負担している。

路線の位置づけをみる

ダイヤ及び車両の運用

※ 下図は平日のバターン。実際の車両繰りについては、他路線との掛け持ちの場合もあり、この図の通り運用されているとは限らないが、概ねの運行ポリシーを視覚化させる観点から示しているものである。



事業収支 (令和6年度)

	費用(千円)	備考	
運行経費	40,881		
(内委託費)	-		
運賃収入	13,976		
収支率	34%		
補助金	国	3,091	
	県	3,091	
	市町村	14,264	飯山市
		3,609	木島平村
		3,739	野沢温泉村

利用実績 (直近3年)



北信地域における幹線の確認について（合庁線）

1 通院・通学・観光における品質が保証されているか

◇通院 行き：拠点となっている病院に午前中に到着できる。
 帰り：診療を終え、午後の早い時間帯に帰宅できる。

中野市→飯山市方面

拠点名	行き			帰り			判定
	信州中野駅発	飯山駅発	拠点到着	拠点出発	飯山駅着	信州中野駅着	
北信総合病院	8:00 8:30	—	8:01 8:31	12:53	—	12:57	○
飯山赤十字病院	8:00 8:30	—	8:34 9:02	12:11	—	12:57	○

飯山市→中野市方面

拠点名	行き			帰り			判定
	飯山駅発	信州中野駅発	拠点到着	拠点出発	信州中野駅着	飯山駅着	
北信総合病院	7:27 8:50	—	8:11 9:24	11:21 13:11	—	12:06 13:48	○
飯山赤十字病院	8:50 9:20	—	8:51 9:21	11:59 13:41	—	12:06 13:48	○

北信地域における幹線の確認について（合庁線）

◇通学 行き：始業時間に間に合うよう登校できる。
 帰り：授業終了後及び課外活動終了後、帰宅できる。

中野市→飯山市方面

拠点名	行き			帰り				判定
	信州中野駅発	飯山駅発	拠点到着	拠点出発	飯山駅着	飯山駅発 (乗り換え)	信州中野駅着	
飯山高校	中野木島野沢線 7:40	—	8:20*1	中野木島野沢線 15:55*1	—	—	16:41	○
				17:20*2			18:02	
				19:05*2			19:46	
下高井農林高校	中野木島野沢線 7:40	8:15	8:33	中野木島野沢線 16:35	17:00	—	17:41	○
				中野木島野沢線 17:55			18:20	

飯山市→中野市方面

拠点名	行き		帰り		判定
	飯山駅発	拠点到着	拠点出発	飯山駅着	
中野立志館高校 中野西高校	7:20	8:08	16:30 18:15	17:18 19:03	○

*1 飯山高校から約1kmの距離にある福寿町の到着、出発時間、*2 飯山高校から約2kmの距離にある飯山駅の出発時間

◇観光 円滑な乗継ぎができ、十分な滞在時間が確保できる。

路線沿線に観光に係る地域拠点は無いが、支線との乗り継ぎにより近接する観光地への移動ができるよう今後別途検証する。

北信地域における幹線の確認について（合庁線）

2 利用状況・実態を鑑みて適切な路線となっているか

◇現行路線の起点、経由地、終点が妥当か

圏域拠点「信州中野駅」と圏域拠点「飯山駅」を結ぶ路線で、地域拠点である「北信総合病院」、「飯山赤十字病院」、「飯山高校」を經由しており妥当。

◇運行ダイヤ、便数、運行形態や車両のサイズが適切か

【運行ダイヤ】

- ・通院……中野木島野沢線により保証されている
- ・通学……中野木島野沢線が運行していない課外活動終了後の時間帯に運行している
また、登校時間帯は中野木島野沢線で保証されているが出発が早く、利便増進のため必要

【運行形態・車両のサイズ】

冬期の観光利用が多く、夏期も一定の需要があると見込まれるため、大型車による定時定路線運行が適切

3 路線同士が競合していないか

◇複数の事業者が類似の路線を走行していないか。

◇幹線同士又は、幹線と準幹線や支線の一部が重複していないか。

中野木島野沢線と起点と終点が重複しているが、大半の区間で経路が大きく異なる。また、異なるダイヤで運行され、お互い補完しあうことでサービスの品質が確保されている。

<参考> 合庁線の現状について

圏域区分	路線種別	路線No.	路線名
10北信	C:幹線	1035	合庁線

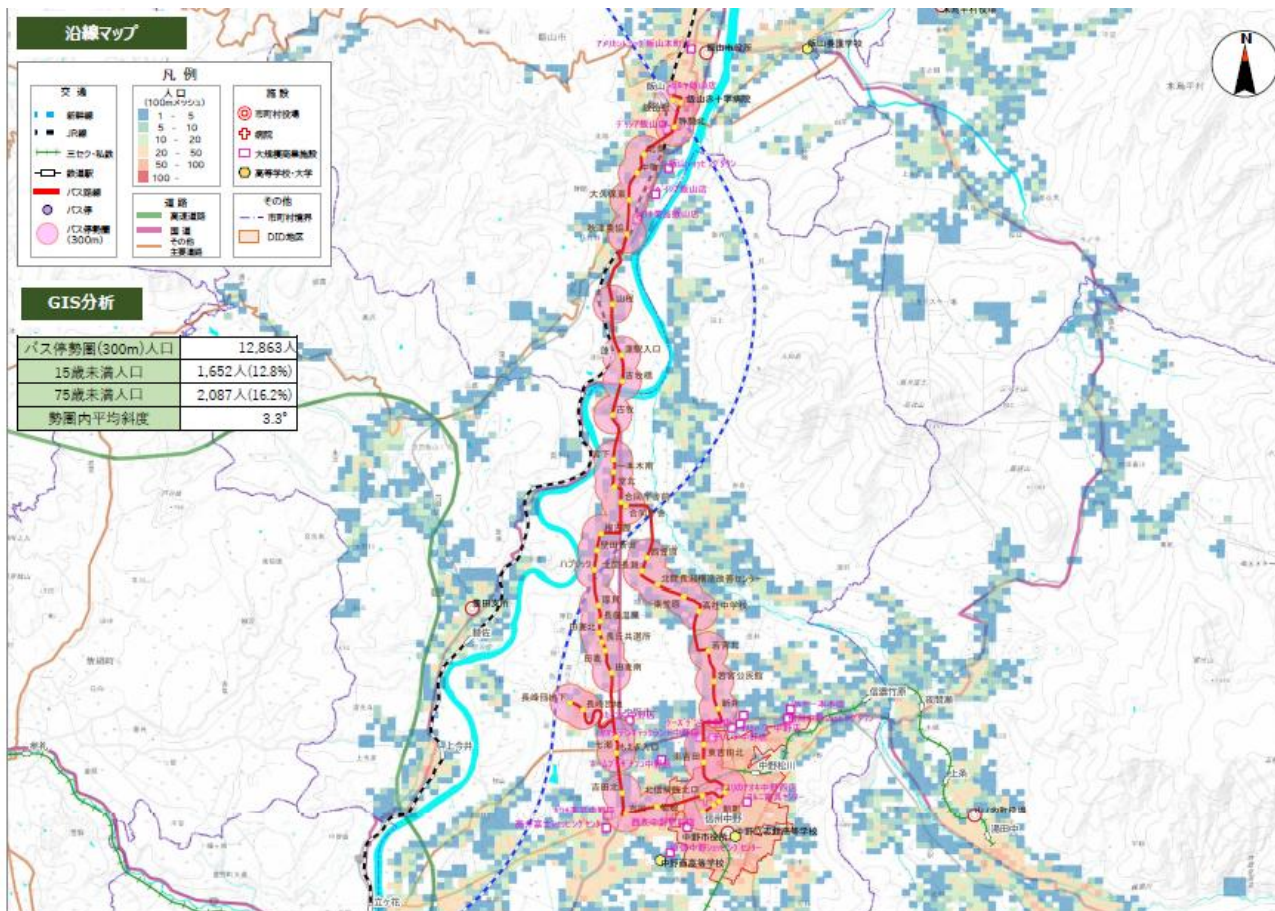
路線の基礎データ

路線名	合庁線		
運営主体	中野市、飯山市		
運営事業者	長電バス		
事業形態	許可形式	一般乗合旅客運送事業[4条]	
	運行方式	路線定期運行	
車両	使用車両	小型バス(車長7m)	
	乗車定員	39	
運行状況	起点	主系統	信州中野駅
		最長系統	信州中野駅
	主要経由地	合同庁舎、長峰団地、若宮公民館	
	終点	主系統	飯山駅
		最長系統	飯山駅
	キロ程	主系統	18.2km
		最長系統	18.2km
	運行日	平日	
		平日	上り7便 下り7便
	運行本数	土曜	-
休日		-	
運行時間帯	平日	6:30~19:46	
	土曜	-	
休日	-		
	休日	-	
運賃体系	運賃種別	距離制	
	初乗り運賃	160円	
	最長区間運賃	600円	
	子ども運賃	半額	
	障がい者割引	半額	
	高齢者割引	×	
	回数券	○	
通学定期	○		
通勤定期	○		
キャッシュレス決済	×		
GTFS	Googleマップへの掲載あり		
利用目的	通院・通学などの生活利用		

ダイヤ及び車両の運用

※下図は平日のパターン。実際の車両繰りについては、他路線との掛け持ちの場合もあり、この回の通り運用されているとは限らないが、概ねの運行ボリュームを視覚化させる観点から示しているものである。

	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
1台目		下1	上1	下3	上3		下4	上4	下5	上5		下6	上6	下7	上7
2台目			下2	上2											



路線の位置づけ

- 北信地域の圏域拠点である中野市街地と飯山市街地を結ぶ路線で、中野市、飯山市から長電バスへの委託運行路線となっている。
- 長電バス中野木島線との並行路線であるが、本路線は北信合同庁舎や高台にある長峰団地へのアクセスなどコミュニティ路線的な特徴が強い。
- 平日7往復のうち、1往復は若宮経由となっている。

事業収支(令和6年度)

	費用(千円)	備考
運行経費	23,204	
(内委託費)	-	
運賃収入	3,122	
収支率	13%	
補助金	国	0
	県	0
	市町村	0

利用実績(直近3年)



北信地域における幹線の確認について（木島平シャトル便）

1 通院・通学・観光における品質が保証されているか

◇通院 行き：拠点となっている病院に午前中に到着できる。
 帰り：診療を終え、午後の早い時間帯に帰宅できる。

生活路線である中野木島野沢線で既に品質が保証されている。

◇通学 行き：始業時間に間に合うよう登校できる。
 帰り：授業終了後及び課外活動終了後、帰宅できる。

木島平村→飯山市方面

拠点名	行き			帰り		判定	
	木島平村役場発	飯山駅着	飯山駅発 (乗り換え)	拠点到着	拠点出発		木島平村役場着
飯山高校	7:31	7:45		7:45*	17:25* 19:00*	17:38 19:13	○
中野西高校	6:52	7:05	中野木島野沢線 7:15	7:49			○

* 飯山高校から約2kmの距離にある飯山駅の到着、出発時間

◇観光 円滑な乗継ぎができ、十分な滞在時間が確保できる。

終点がスノーリゾートロマンスの神様となっており、観光利用されている。
 現在、観光に係る地域拠点の設定を検討中

北信地域における幹線の確認について（木島平シャトル便）

2 利用状況・実態を鑑みて適切な路線となっているか

◇現行路線の起点、経由地、終点が妥当か

圏域拠点「飯山駅」とスノーリゾートロマンスの神様を結ぶ路線で、経由地として「木島平村役場」があり、「飯山駅」から「木島平村役場」の間は生活路線として妥当

◇運行ダイヤ、便数、運行形態や車両のサイズが適切か

【運行ダイヤ】

- ・通院・・・中野木島野沢線により保証されている。
- ・通学・・・登校時間帯は中野木島野沢線で保証されているが出発が早く、利便増進のため必要

【運行形態・車両のサイズ】

平日は長野方面への通勤、通学にも利用されており、利用者も現状需要を満たしているため、10人乗りワゴン車での定時定路線運行は適切

3 路線同士が競合していないか

◇複数の事業者が類似の路線を走行していないか。

◇幹線同士又は、幹線と準幹線や支線の一部が重複していないか。

一部の停留所が中野木島野沢線と重複しているが、中野木島野沢線によって品質保証されていない時間帯に運行され、品質保証を補完している便がある。

<参考> 木島平シャトル便の現状について

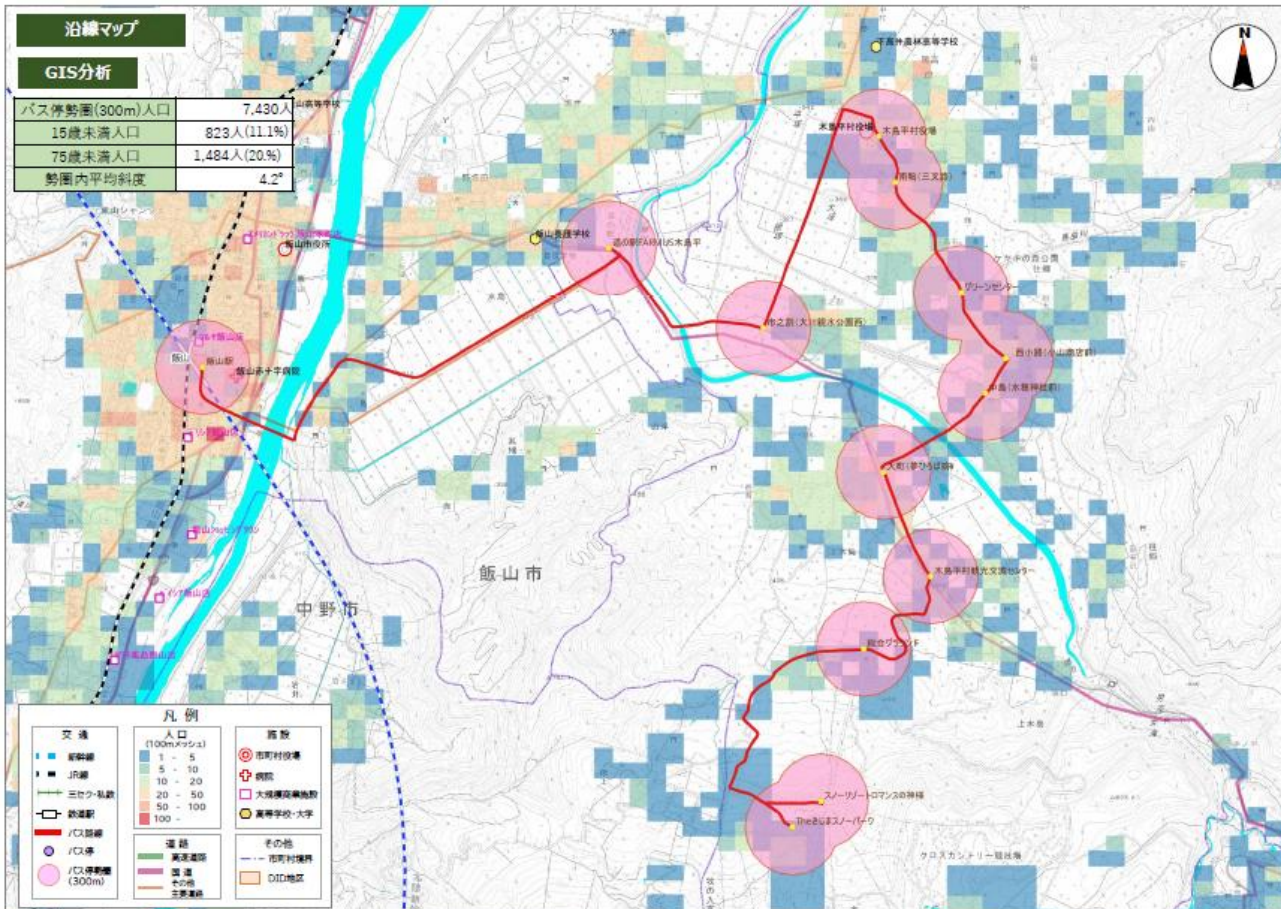
圏域区分	路線種別	路線No.	路線名
10北信	C:幹線	1036	木島平村シャトル便

路線の基本データ

路線名	木島平シャトル便		
運営主体	木島平村		
運行事業者	長電バス		
事業形態	許認可形式	一般乗合旅客運送事業[4条]	
	運行方式	路線定期運行	
車両	使用車両	ハイエース	
	乗車定員	10	
運行状況	起点	主系統	飯山駅
		最長系統	飯山駅
	主要経由地	道の駅FARMUS木島平、木島平村役場 総合グラウンド	
	終点	主系統	スノーリゾートロマンスの神峰
		最長系統	スノーリゾートロマンスの神峰
	キロ程	主系統	13.6km
		最長系統	13.6km
	運行日	毎日	
	運行本数	平日	上り4便 下り3便
		土曜	上り5便 下り7便
休日		上り5便 下り7便	
運行時間帯	平日	6:00~19:22	
	土曜 休日	8:38~19:35	
運賃体系	運賃種別	平日 = 定額制、土休日 = 距離制	
	初乗り運賃	200~300円 (平日は200円均一)	
	最長区間運賃	900円	
	子ども運賃	半額	
	障がい者割引	半額	
	高齢者割引	×	
回数券	○		
通学定期	○		
通勤定期	○		
キャッシュレス決済	×		
GTFS	Googleマップへの掲載あり		
利用目的	生活・観光利用両方		

ダイヤ及び車両の運用

※下図は休日のパターン。実際の車両繰りについては、他路線との掛け持ちの場合もあり、この図の通り運用されているとは限らないが、概ねの運行ボリュームを視覚化させる観点から示しているものである。



・北陸新幹線の開業に伴い運行が開始されたもので、飯山駅から木島平村内の観光拠点であるスノーリゾートロマンスの神峰を結ぶ路線である。木島平村中心部のほか、道の駅 FARMUS木島平、観光交流センター等を経由している。木島平村から長電/スへの委託運行路線となっている。

・観光の二次交通という位置づけで運行が開始された路線であるが、現在は高校生の通学利用に特化したダイヤとなっている。

路線の位置づけ

事業収支 (令和6年度)

	費用(千円)	備考
運行経費	11,511	
(内 委託費)	-	
運賃収入	1,290	
収支率	11%	
補助金	国	0
	県	0
	市町村	0

利用実績 (直近3年)



北信地域における幹線の確認について（野沢温泉ライナー）

1 通院・通学・観光における品質が保証されているか

飯山市ー野沢温泉間は中野木島野沢線が運行しており、生活路線としての主な移動手段となっているが、品質保証されていない時間帯を野沢温泉ライナーにより補完する。また、観光路線としては冬期に「野沢温泉」を訪れる観光客が非常に多く、品質保証に必要な路線である。

◇通院 行き：拠点となっている病院に午前中に到着できる。
 帰り：診療を終え、午後の早い時間帯に帰宅できる。

生活路線である中野木島野沢線で既に品質が保証されている。

◇通学 行き：始業時間に間に合うよう登校できる。 帰り：授業終了後及び課外活動終了後、帰宅できる。

野沢温泉村→木島平村、飯山市、中野市方面

拠点名	行き				帰り				判定
	野沢グランドホテル発 (中央バスターミナル)	飯山駅着	飯山駅発	拠点到着	拠点出発	飯山駅着	飯山駅発 (乗り換え)	野沢グランドホテル着 (中央バスターミナル)	
飯山高校	7:40	—	—	7:59	18:58	—	—	19:20	○
下高井農林高校	7:40	8:05	中野木島野沢線 8:15	8:33	中野木島野沢線 17:55	18:20	18:55	19:20	○
中野立志館高校 中野西高校	6:30	6:55	中野木島野沢線 7:15	7:49	中野木島野沢線 17:05 中野木島野沢線 18:30	17:35 19:20	18:55 20:15	19:20 20:40	○

◇観光 円滑な乗継ぎができ、十分な滞在時間が確保できる。

路線沿線には地域拠点である「野沢温泉」がある。

平日、土日祝ともに20便運行しており、十分な滞在時間を確保できると考えるが、円滑な乗継ぎができるダイヤ設定等、今後別途検証する。

北信地域における幹線の確認について（野沢温泉ライナー）

2 利用状況・実態を鑑みて適切な路線となっているか

◇現行路線の起点、経由地、終点が妥当か

圏域拠点「飯山駅」と野沢温泉村の地域拠点「中央バスターミナル」を結ぶ路線で、「飯山高校」を経由しており妥当。

◇運行ダイヤ、便数、運行形態や車両のサイズが適切か

【運行ダイヤ、便数】

- ・通院・・・品質が保証されており妥当
- ・通学・・・品質が保証されており妥当

【運行形態・車両のサイズ】

通院や通学を始め幅広い時間で利用が見られるため定時定路線での運行が適切。平均乗車密度は1.0人であるが、通学時間帯は10名前後の利用者がおり、積雪や凍結の影響で冬期に利用者が増加することを考慮すると中型バスによる運行が適切。

3 路線同士が競合していないか

◇複数の事業者が類似の路線を走行していないか。

◇幹線同士又は、幹線と準幹線や支線の一部が重複していないか。

起点、終点は中野木島野沢線と同一だが、中野木島野沢線によって品質保証されていない時間帯に運行され、品質保証を補完している便がある。

<参考> 野沢温泉ライナーの現状について

野沢温泉ライナーはカルテなし

北信地域における幹線の確認について（湯沢線）

1 通院・通学・観光における品質が保証されているか

- ◇通院 行き：拠点となっている病院に午前中に到着できる。
帰り：診療を終え、午後の早い時間帯に帰宅できる。
- ◇通学 行き：始業時間に間に合うよう登校できる。
帰り：授業終了後及び課外活動終了後、帰宅できる。
- ◇観光 円滑な乗継ぎができ、十分な滞在時間が確保できる。

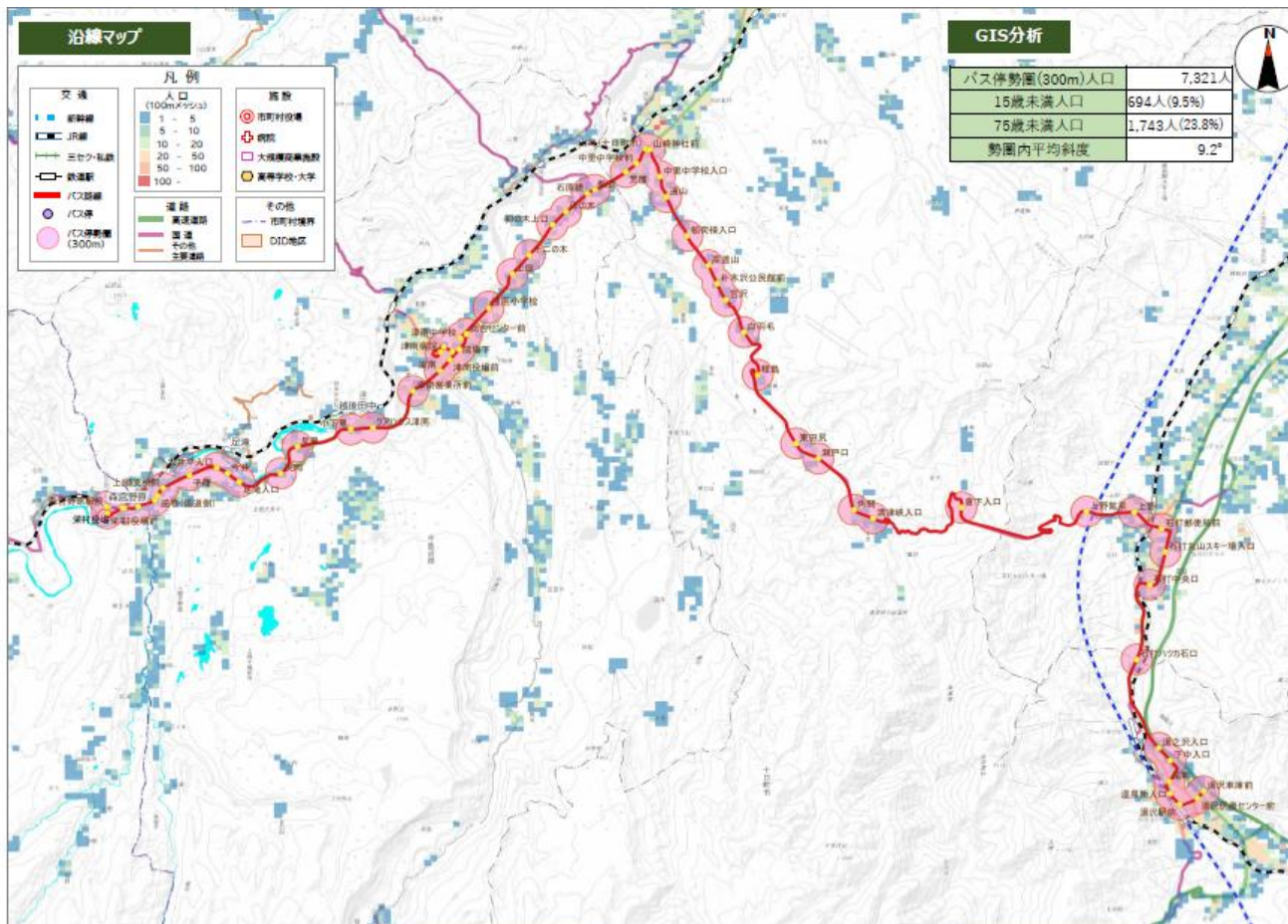
路線上に品質を保証すべき通院、通学、観光の地域拠点なし。今後利用状況等を鑑み、新たに地域拠点を設定した場合には、あらためて品質保証について確認する。

<参考> 湯沢線の現状について

圏域区分	路線種別	路線No.	路線名
10北信	C:幹線	1031	湯沢-森宮野原線

路線の基礎データ

路線名	湯沢-森宮野原線		
運営主体	南越後観光バス株式会社		
運行事業者	南越後観光バス株式会社		
事業形態	許認可形式	一般乗合旅客運送事業[4条]	
	運行方式	路線定期運行	
車両	使用車両	大型車	
	乗車定員	70	
運行状況	起点	主系統	湯沢車庫前
		最長系統	湯沢車庫前
	主要経由地	石内丸山スキー場入口、清津峡入口 津南役場前	
		終点	主系統
	キロ程	主系統	40.0km
		最長系統	40.0km
	運行日	毎日運行	
	運行本数	平日	上り4便 下り4便
		土曜	上り4便 下り4便
		休日	上り4便 下り4便
運行時間帯	平日	7:08~18:28	
	土曜	8:40~18:28	
	休日	8:40~18:28	
	運賃種別	距離制	
運賃体系	初乗り運賃	160円	
	最長区間運賃	1,030円	
	子ども運賃	半額	
	障がい者割引	半額	
	高齢者割引		
	回数券	○	
	通学定期	○	
	通勤定期	○	
キャッシュレス決済			
GTFS	Googleマップへの掲載あり		
利用目的	生活・観光利用両方		



上越新幹線の停車駅である新潟県越後湯沢駅から農勝型として知られる清津峡や津南町の中心部を経て、栄村の森宮野原駅を結ぶキロ程40km、所要時間片道70分の長距離路線である。
 ・1日4往復の運行があるが、2往復は津南町止まりであり、栄村まで結ぶのは2往復となっている。
 ・栄村から津南町の間はこの路線のほかにも、同じ南越後観光バスが運行する津南・森宮野原線が2往復運行しており、あわせて4往復ある。
 ・沿線市町村からの補助金で運営されており、栄村が補助金全体の13%を負担している。

	費用(千円)	備考	
運行経費	41,097		
(内委託費)	-		
運賃収入	17,270		
収支率	42%		
補助金	国	0	
	県	8,493	新潟県
	市町村	8,493	新潟県沿線4自治体
		2,535	栄村
	0		

